

新公会計 NEWS

《第 5 号》

～ 大阪府の財務状況を分かりやすく！ ～

今回は、「財務 4 表」のうちの 1 つ、『キャッシュ・フロー計算書』の解説です。

キャッシュ・フロー計算書（CF）の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間の資金収支の状況を、行政サービス活動、投資活動、財務活動に区分して表示したものです。

これにより、現金がどのような活動で増えたのか、減ったのかを明らかにします。

（単位：億円）

「行政サービス活動」は、行政サービスの提供に関する収入や支出を計上します。

今年度は、収入が支出を 154 億円上回りました。
これは、収入のうち、地方税が 462 億円、地方譲与税が 245 億円それぞれ増加したこと及び支出のうち、給与関係費が 402 億円減少したことなどによるものです。

「投資活動」は、建物や土地などの固定資産を取得するための支出、基金の積立て・取崩しに係る収入・支出等を計上します。

投資活動の収支差額は、昨年度の▲402 億円から▲50 億円となりました。
これは、貸付金や公共施設等整備支出が減少したことによるものです。

	平成 25 年度	平成 24 年度
行政サービス活動		
行政収入	20,935	20,096
行政支出	20,011	20,105
金融収入	7	7
金融支出	778	809
特別収入	2	1
特別支出	2	2
行政サービス活動 収支差額	154	▲ 811
投資活動		
投資活動収入	5,818	6,185
投資活動支出	5,868	6,587
投資活動収支差額	▲ 50	▲ 402
行政活動キャッシュ・ フロー収支差額	104	▲1,213

(単位：億円)

「財務活動」は、地方債や借入金など、将来的に返済義務を負う外部からの資金調達による収入及びその償還・返済の支出等を計上します。

財務活動の収支差額は、地方債の発行等による収入が、その償還等による支出を上回ったため、192億円となりましたが、昨年度と比べると、1,170億円減少しています。

※「地方債」とは、道路、住宅、学校の建設など多額の経費を要する事業などで、その効果が後年度に及びものや災害復旧事業など緊急に実施する必要がある事業などの財源に充てるための国や金融機関などからの借入れ資金です。

	平成 25 年度	平成 24 年度
財務活動		
財務活動収入	10,839	7,724
財務活動支出	10,647	6,362
財務活動収支差額	192	1,362
収支差額合計	296	148
前年度からの繰越金	209	183
形式収支	505	332
歳入歳出外現金受入額	3,485	3,222
歳入歳出外現金払出額	3,079	2,850
再計	911	704

☆金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。
このため、表内での合計等が一致しないことがあります。



キャッシュ・フロー計算書の「行政サービス活動」と「投資活動」は、純粋な行政活動（事業の実施）に関する収支ですが、「財務活動」は行政活動に必要な資金の調達（借入・償還）に関する収支であるため前者とは異なるものです。

そのため、「行政サービス活動」と「投資活動」を合わせた「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」として表示することで、純粋な行政活動にかかる資金収支の状況を明らかにしています。



[新公会計制度による大阪府の財務諸表の掲載は、大阪府ホームページ（カテゴリーからさがす）⇒「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」](#)でご覧いただけます。